

知事コメント

令和4年7月21日(木)

沖縄県では連日、過去最多となる新規陽性者数が確認されるなど、県内全域で新型コロナの感染急拡大が続いています。また、感染者の増加とともに入院者数も増え、病床使用率は非常に高い水準にあり、入院調整に相当の時間を要している他、一時的に満床となり患者受入が困難となるなど、医療ひっ迫が進んでいます。

医療のひっ迫に加え、BA.5への置き換わりが進んでいること、3回目ワクチン接種の効果が弱まっていること、また、県民の活動が活発化していることから、本日(7/21)は新規陽性者数5,250人が確認され、過去最多となっております。

感染の勢いはおとろえておらず、今後、夏場のイベント開催が予定されていることや夏休みにより、さらなる感染拡大が現実味を帯びてきました。

そのため、沖縄県対処方針の見直しを行い、感染対策を強化いたします。今回示した新たな対策は「急激な感染拡大を抑え込み、県民の生活と命を守るための緊急対策」となっています。対策のポイントは、次のとおりです。

県民の皆様には、日頃から換気やマスクの正しい着用など、感染対策を心がけて頂き、感染が拡大している状況にありますので、不要不急の外出はできるだけお控えください。また、会食は、4人以下・2時間以内で行って頂き、会話の際はマスクを着用しましょう。

体調不良でコロナが疑われる場合、軽症であれば、医療用の抗原検査キットを活用するか、県のコールセンターにご相談ください。救急医療を守るため、軽症の場合や検査目的での救急医療の受診はお控えください。家庭には、あらかじめ解熱薬等を常備しておきましょう。

来訪者の皆さまへのお願いです。沖縄県内の医療機関はひっ迫し、受診が困難となっております。持病のある方は、旅行中無理をせず体調管理を心がけて頂くとともに、ご自身が日頃処方されている薬を把握し、来県時には、持病の薬を多めに持参してください。

イベント参加者の安心・安全を確保するため、1,000人以上の参加者が見込まれるイベントは、事前に、感染防止安全計画を提出することをお願いします。特にアルコール提供を伴うイベントについては、開催時期の延期を検討願います。

イベントには、地域の伝統行事やお祭り、音楽ライブ等の様々な催しがありますが、過去のイベント（成人式や卒業式）では終了後感染拡大傾向が見られ、「大声を発する」「密になりやすい」「アルコールを含む会食を伴う」イベントは、感染リスクが高まる傾向にあることを認識して下さい。

対策が十分でないと思われるイベントでは、規模の縮小や延期も含めて、事業者側に慎重な判断を求めます。参加者の安心・安全を確保するために必要ですので、ご理解・ご協力をお願いします。

その他、発熱外来に対応する医療機関を増やすため、日曜・祝日に開所する発熱外来及び小児科への協力金制度を創設します。発熱外来が増えることにより、患者の利便性は増し、重点医療機関の負担が軽減されることになることから、多くの医療機関のご理解、ご協力をお願いします。

なお、イベントへの参加、旅行や帰省等、感染への不安がある場合等に利用できる無料検査は、8月以降も実施します。

今回示した新たな対策により、感染対策を強化しますが、感染拡大が急激に進んでいる現状では、行動制限を含めたさらなる強化策も検討してまいります。

また、県民の皆さまに対して、これまで、救急の適正利用を繰り返し呼びかけているところですが、引き続き、救急外来に検査のみを希望される方や軽症の方が集中し、夜間は4時間以上待ちの状況となっております。

医療のひっ迫は日々進んでおり、新型コロナへの医療対応だけではなく、一般医療を含めた救急医療体制の維持が厳しくなり、私たちは、ケガの治療や救命救急など、今まで受けていた医療が受けられない状態になりつつあります。

この状況は県民のみならず、観光客や帰省客にとっても同様です。

そのため、今回「沖縄県医療非常事態宣言」を発出し、全ての県民、事業者の皆さまへ3つの協力をお願いすることとしました。

- ① 咳、のどの痛み、発熱などの症状を認めるときは外出せず、7日間は高齢者等の重症化リスクの高い方と会うことは控えてください。
- ② 軽症の場合や検査目的での救急病院の受診は控えてください。
- ③ 今一度、ご自身の感染対策を見直してください。屋内ではマスクを着用し、密集を避け、換気をして下さい。

以上の3点につきまして、あなたの大切な人やあなた自身を守る行動が、医療を守ることに繋がります。ご協力をお願いします。

なお、新型コロナの軽症者の対応については、基礎疾患や肥満などのない子どもや若者は、多くの場合、解熱剤など症状を緩和する内服薬で軽快しているとされており、ご家庭でもお薬を常備してください。

但し、呼吸が早い・苦しい、意識がもうろうとしている、ぐったりしている、水分や食事がとれない、高熱が3日続いている、顔色が悪い等の症状を認めるときは、早めに救急外来を受診して下さい。

先日開催されました、沖縄県新型コロナウイルス感染症対策専門家会議において、委員から「救急外来で数時間待った患者さんから、医療従事者が罵声を浴びせられた」との報告がありました。

患者さんの辛さは大変だと理解しますが、医療従事者も一生懸命に対応しています。決してそのようなことはしないで下さい。

お互いが思いやりをもって、皆で協力してコロナに立ち向かう姿勢が必要です。

感染拡大により厳しい状況にはありますが、私たちの命と生活を守り、経済活動を維持するため、県民、全ての業界が等しく感染対策に取り組むことが、今こそ必要です。県民おひとりおひとりの責任ある行動をよろしくお願いします。